

区民と区長のまちづくり懇談会 会議録 [北部地区]

No.	区 民	区 長
ふれあいと活力のあるまち		
1	<p>【地域のつながりについて】</p> <p>夏祭りの時に、近くのホステルに宿泊していた外国人の方が神輿を担いでくれたことがあった。また、これまでは菅刈小学校の校長、副校長が来ていなかったが、今回は子どもと一緒に回ってくれて、地域とのつながりがすごく出来てきている。コミュニケーションを大切にするのは、今後の防災・防犯などでうまく連携していく上で大切ではないかと考えている。</p> <p>今、目黒区では民泊に関して消極的のようだが、ルールを作って進めることによって、観光ではなく体験型の形になっていくのではないかなと思う。</p> <p>また、桜も見ただけではなく、桜を守るボランティア活動を活発にしていくことが、地域とのつながりで大切なので、進めていってほしい。</p>	<p>コミュニケーションはまちにとって最も大事なことです。次の基本計画の中でも大事な課題だと認識しています。時代に合わせて計画をブラッシュアップしていくためにご意見を伺っており、区も同様の考え方です。</p> <p>民泊については、法律はできましたが、具体的な運用等の細かい規定がまだできていません。都から事務を受けるかどうかも含めて、今の段階では国などから材料が十分に提示されていないため、判断ができません。多くの区民の声は、安全・安心を守ってほしいというものです。不特定多数の人が集まりますから、火災やごみのことを心配されています。全体像が見えてきたら判断していきたいと思います。</p> <p>桜については、区民の方に継続的に手入れをお願いすることは難しいと思いますので、サクラ基金をお願いして、寄付を頂き、それを原資に桜の保全をすることで、間接的な支援をお願いしています。</p> <p>※サクラ再生計画づくりを通して、地域の方々には桜を守るボランティア活動を呼びかけています。</p>

No.	区 民	区 長
ともに支え合い健やかに安心して暮らせるまち		
2	<p>【地域の子育て支援事業への支援について】</p> <p>行革計画改定素案の中に、地域の子育て支援事業への支援と書かれているが、具体的にどのようなイメージを持っているのか。子育てサロンを多いときには20名前後、月2回、ボランティアでやっているが、どのような形で支援してもらえるのか。</p>	<p>保育園に預けていない地域の子育て中の方がふらっと寄って、いろいろな悩みを相談する場所がいくつかありますが、まだまだ足りません。地域の子育てサロンなどの活動をもっと広げていきたいという思いがあります。具体的には、それぞれの団体の方と相談しながら、画一的なものではなく、どのような形で一緒に子育ての場を作っていくか相談しながら進めていきたいと考えています。</p>
環境に配慮した安全で快適なまち		
3	<p>【境界確定にかかる問題について】</p> <p>目黒区職員の不正行為と、それを隠ぺいする行為が起こっている。不正行為とは、境界確定に絡み、私の土地を取ろうとする行為である。区職員が、塀部分の一部の土地は区に寄付したのではないかという根拠のない発言をした。区職員に、私の敷地内に付けられた境界マークの位置について、調査を依頼したが調べないと言った。境界線と土地所有権について、当時の課長に再協議、再調査を求めたが、正当な理由なくこれを拒否した。塀が区有通路に出ていると主張した区は、真摯に再調査をすべきだ。職員の発言や対応、再協議や再調査の要望を、うやむやにすべきではない。</p>	<p>十分確認が取れていないため、改めて私どもの考え方を文書で回答します。</p> <p>※平成29年11月7日、文書で回答しました。</p>

No.	区 民	区 長
4	<p>【イルミネーションについて】 私たち住人は目黒川のイルミネーションに猛反対である。商店街の方たちが町会長の名義を借りて、さも住民イベントのようにして、桜の木に電飾を巻き付ける許可申請をしている。私たちの家の窓の4メートル横で、夜の9時まで電飾をつけられては眠れないし、何十万人の来訪者が酔っぱらって歩いていく。家の横でやっていいイベントではない。なんで毎年許可されてしまうのか。飲食店の売り上げを上げるために、多くの住人が迷惑を受けるイベントに区が力を貸すというのはいかがなものか。日常生活が成り立たなくなるのがわかっていて、なぜ区が許可を出すのか。イルミネーションをつけるための許可を出さないでほしい。</p>	<p>町会にはさまざまな意見があると思いますが、町会長さんは町会を代表していると認識しています。内部での話し合いについては承知していませんが、十分な話し合い、説明をお願いしています。昨年も木に大きな負担がないと判断し、電飾をつけたことで木に損傷があったとは考えていません。警察の許可を前提として、桜の木に電飾を巻き付ける占用許可について判断しています。</p> <p>日程については、昨年、申し入れがあった期間よりも短い期間を要望し、当初よりも短い期間になりました。</p> <p>それぞれの町会で判断して許可申請があったものと承知しています。</p>
5	<p>【目黒川のイベントについて】 ふるさと納税で12億円も税収が減る財政下で、桜まつりで無駄があると思うことがある。桜まつりは連絡協議会なるものができて、その人たちの意向で行われているが、まったく責任者はいない。すべての責任は区で行っている。今年度の警備費は2,140万円かかり、電気代も14万1千円かかったそうである。ごみも区の職員が集めて歩かないといけない。連絡協議会の人やるべきことと思っている。この財政難の中で、区が後援しているために全責任を負わないといけない状況はいかがなものか。イベントに関わっている人がどの団体も皆同じでなあなあで進めているように見える。桜まつりを続けるならば、連絡協議会の人たちが自分たちの責任感の下ですべてのことを行う前提でやっていかないとまったくない。それを区長にお願いしたい。</p>	<p>集客するイベントという認識はもっていませんが、少なくとも300万人を超える方がお見えになりますので、安全・安心の確保ということで、警察と協議し、地元自治体として警備員を配置しています。運営協議会には責任者はいませんが、その方たちが300万人を呼ぶイベントをしているということではありません。この方々に財政負担をしていただくのは難しいと思います。ごみについても露店の皆さんにお願いするとともに、マップを配り持ち帰りをお願いしています。区のイベントではないにしても、区がごみを収集しなければ、ごみの山になってしまいます。皆さんの税金を使っていますが、これも地域といらっしゃる方たちの安全・安心を守る、環境を守るために行っています。多くの方がお見えになりますが、区がそれを来ないようにすることはなかなかできません。</p>

No.	区 民	区 長
6	<p>【生活安全パトロールについて】 生活安全パトロールカーが24時間3交代で回っていると聞き、これは本当に安全・安心に欠かせないと思った。ところが、以前は5台走っていたものが、今は削減されていると聞いた。とても大きな抑止力になると思うので台数を増やしてほしい。特に青葉台は空き巣が多いと安全メールに載っていたので、北部地区に手厚いパトロールをお願いしたい。</p>	<p>台数を減らした理由は、非常に大きなお金がかかるということ、同時に地域の皆さんでパトロールをしてもらい、自らの地域を自らの手で守ってもらうという考え方があるからです。現在、7千人近くの地域の方が回ってくれています。警察や区のパトロールと地域の皆さんによる複合的な見守りが大切という認識を持っています。犯罪などがあった場合は、生活安全パトロールカーがそこを重点的に回るなど、柔軟な運用をして出来るだけ効果的に活用しています。今後もさまざまな手法を駆使しながら、安全・安心を守っていきたいと思います。</p>
7	<p>【ライトダウンキャンペーンについて】 区ではCO₂削減のライトダウンキャンペーンを行っているが、どれくらいの参加者がいて、どれくらいの成果が出ているのか。普段の生活の中でライトダウンは難しいと思っている。桜まつりのぼんぼりやイルミネーションを止めれば区として数値化できるような成果が出ると思う。</p>	<p>どれくらいの人数が参加され、どれくらいのCO₂削減効果があるのか計測はしていません。大事なことは、啓発をすることで普段からそういう意識を持ってもらうことです。ライトダウンキャンペーンをきっかけに日々の節電にも気を付けていただきたいということで行っています。イベントの節電に関しては、商店街なり町会なりで取り組んでいただくこととなります。</p>
その他		
8	<p>【区の非常勤職員、臨時職員への支援システムについて】 区の職員には、正規だけではなくで非常勤職員や臨時職員の方もいる。そういう職員が悩んだり苦しんだりした時にフォローしてくれるのか。非常勤職員や臨時職員は、ほとんどが目黒区民である。区民のことをもう少しフォローしてくれるシステムはあるのか。 心の傷は目に見えないもので、そういう問題について声を上げられない人がいることに気が付いてほしい。</p>	<p>区には千名を超える非常勤職員がいます。給与について違いがあることは事実ですが、悩みを相談するという制度の上で区別があるということはありません。人事課を中心にきちんと対応をしています。しかし、私のところにも職員の心の病気の状況は報告がありますので、仕事を休む職員がゼロではないことは認識しています。 本人のプライバシーを守りながら、区に状況を伝える制度はあり、職員にもPRしています。伝えられないという状況であれば、よく検討していきたいと思います。</p>